



和歌山市立宮北小学校
学校だより 令和8年7月号



5年生 加太合宿を終えて ～【自立】と【協力】を学んだ2日間～

6月22、23日の2日間、5年生と一緒に加太合宿へ行ってきました。1日目は涼しい曇り空のもと、自然の中でアスレチックやスコアーOLを満喫。あいにくの雨となった2日目も、カラフルな焼き板作り、白熱の室内レクでめいっぱい体を動かし、充実した時間を過ごしました。



友達と生活をともにし、家族と離れて過ごす2日間、子どもたちの生き生きとした姿を見て、【自立】と【協力】について改めて深く考えさせられました。

飯盒炊さん（カレー作り）では、火おこしや調理など初めての経験が多い中、どの子も「それは私がする係！」「練習してきたからばくがしたい！」などと自分から進んで動いていました。ただ見ているだけの子は一人もおらず、一発OKを目指して後片付けまで一生懸命に取り組む姿は、まさに気持ちのよい【協力】そのものでした。

また、部屋での活動では、荷物の整理やシーツ敷きなど、普段はお家の方がしてくれていることを全て時間内に自分でやらなければなりません。身の回りのことを自分たちですることを通して、子どもたちは家族への感謝の気持ちを強く抱いたはずです。

さらに、友達同士で自然と手助けし合う姿も印象的でした。自分で何でもできることだけが【自立】ではありません。グループで助け合って歩調を合わせること、そして、自分にできないこ

とは素直に伝えて友達に助けてもらうことも、立派な【自立】への一歩だといえます。

寝食を共にすることで、一人ひとりの個性や意外な一面を知ることができました。思い出づくりとともに、確かな【自立】への力を身に付けた2日間。お家でのお土産話が、何よりの成長の証です。

学校長 西井恵美子



全校アート！第2弾 ～だんちゃんとの出会い～（6月30日）

和歌山大学の永沼先生をお迎えしての全校アート第2弾を行いました。（第1弾は昨年度2月に「藤の花のモバイル」制作）今回は永沼先生が持ってきてくれた動物型の段ボールの「だんちゃん（仮称）」が各学年の教室に登場するところから始まりました。4～6年生は組み立てるところからのスタートで、だんちゃんが首やしっぽを振る仕組みも知りました。



100周年をお祝いする仲間として、1～6年までクラスごとに1体、合計6体を制作するものです。どんな顔にするか、何色にするか、形や模様、材料や表面の質感など、クラスで話し合い、全体像をイメージしながら描いたり塗ったり貼ったり、くるんだり・・・など作り上げていきます。それぞれにいい名前を付けて毎日教室で一緒に過ごしながら、みんなで作ることそのものを楽しみ、最終は10月の記念式典等の際に体育館に展示したいと考えています。どんな6体が勢ぞろいするかとてもワクワクしますね♪



ワークシートでイメージを
ふくらませて...



だんちゃんは体長150cm、体高79cmのビッグサイズ！

待ちに待ったプール開き 🐬

月曜日(6/29)、出会う子みんな口々に「今日は絶対入りたい！」「今日こそ、プール入れるよね」と期待をふくらませて登校してきた願いがかない、先週は雨のためおあずけになっていたプール開きがやっと実現しました！

